

平成29年7月4日

## 水田活用の直接支払交付金における水田フル活用ビジョンについて

主な変更点は下記のとおりです。

### 記

- 1 麦、大豆、野菜に対する産地交付金の単価を6,400円/10aから5,500円/10aに引き下げ。
- 2 担い手による飼料用米・米粉用米への取組を新たに助成対象とし、単価は3,000円/10aとする。
- 3 水田活用の直接支払交付金から廃止された二毛作助成と耕畜連携助成について、産地交付金に位置付けて助成対象とし、単価は二毛作助成8,600円/10a、耕畜連携助成6,500円/10aとする。
- 4 「3 作物ごとの作付予定面積」の平成29年度の作付予定面積は、水田農業作付ビジョンの面積と同様。平成30年度の目標作付面積は、飼料用米(▲600ha)、備蓄米(▲65ha)、そば(▲5ha)、を下方修正、米粉用米(+500ha)、WCS用稲(+10ha)、加工用米(+45ha)、大豆(+15ha)飼料作物(+100ha)を上方修正。